

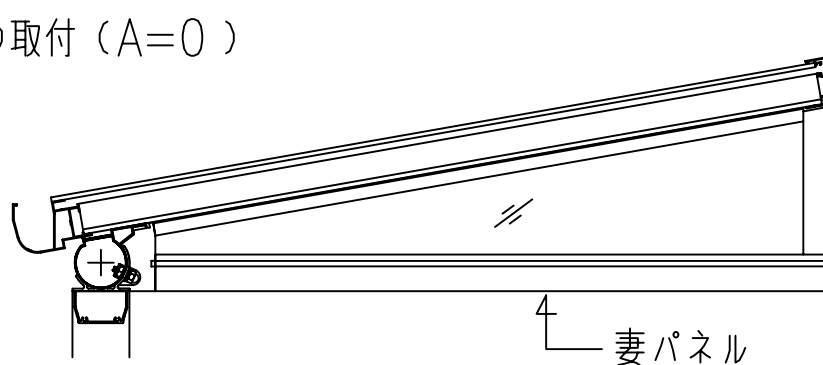
柱移動と妻パネルの注意事項

表 1：柱移動距離と妻パネルの関係

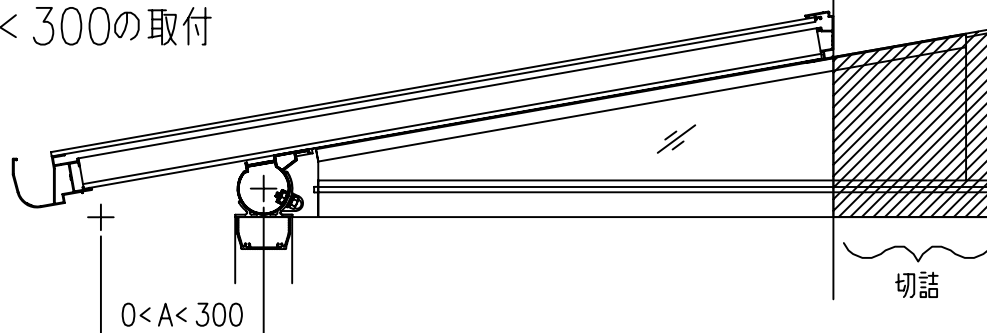
	柱移動距離A (mm)	FG 型	RG 型
1	$0 < A < 300$	妻パネルの切詰で対応	対応不可
2	$A = 300$	屋根サイズより1尺小さいFG型妻パネルで対応	
3	$300 < A \leq 500$	屋根サイズより1尺小さいFG型妻パネルの切詰で対応	
4	$500 < A$	500mmより大きく柱を移動することは出来ません	

◆ FG 型 柱移動説明図 ◆

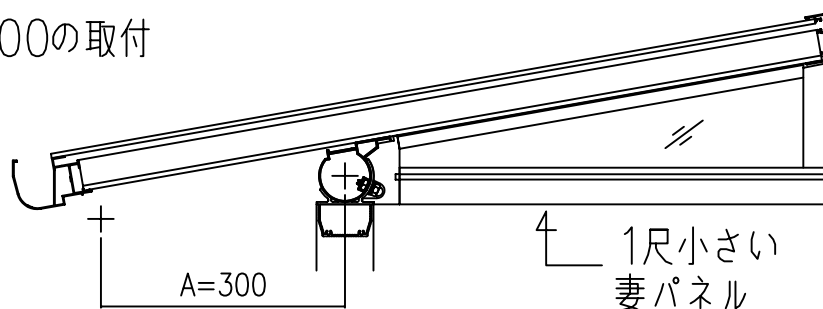
・ 柱移動なしの取付 ($A=0$)



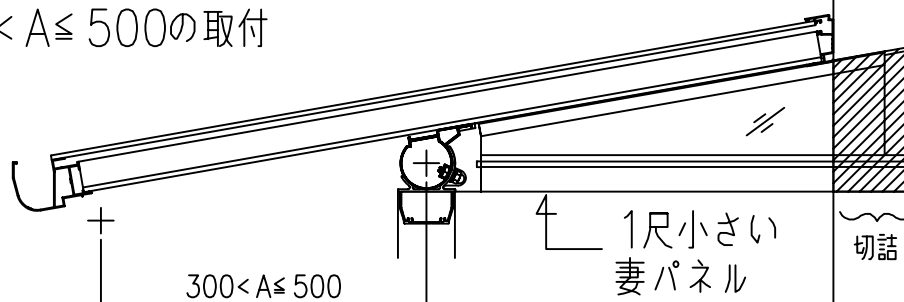
・ 柱移動 $0 < A < 300$ の取付



・ 柱移動 $A = 300$ の取付

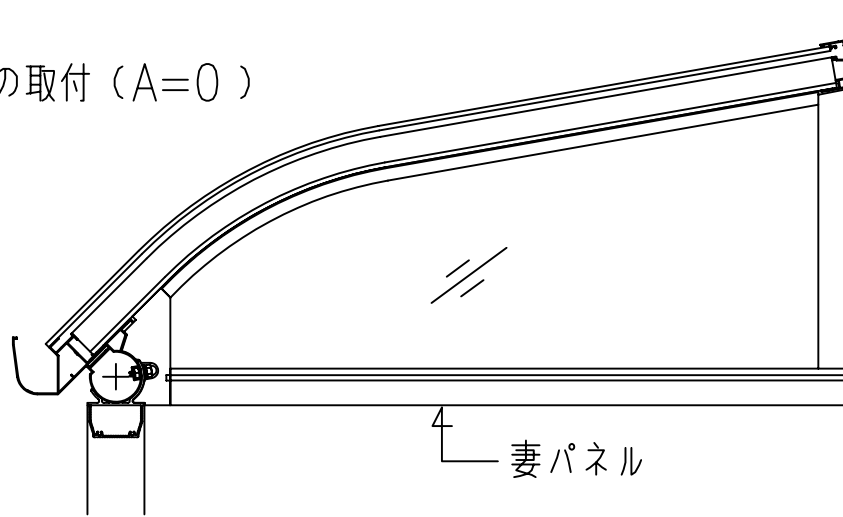


・ 柱移動 $300 < A \leq 500$ の取付

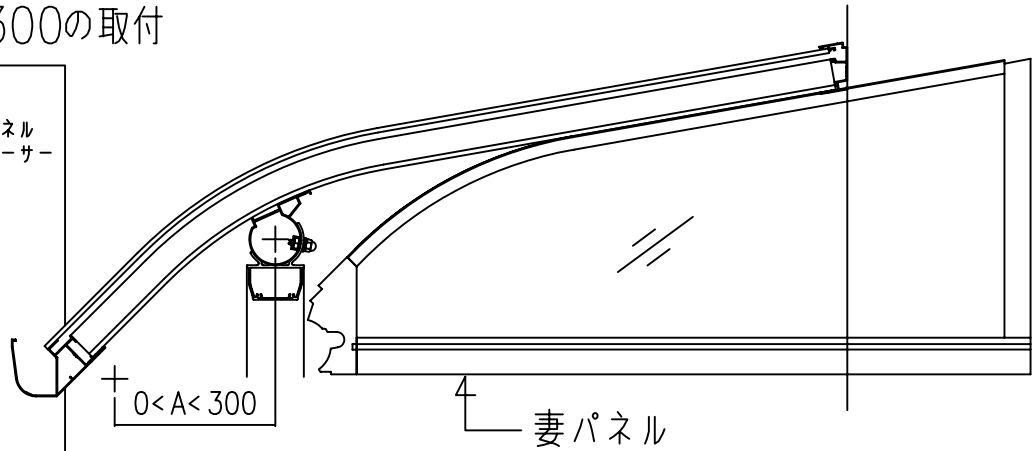
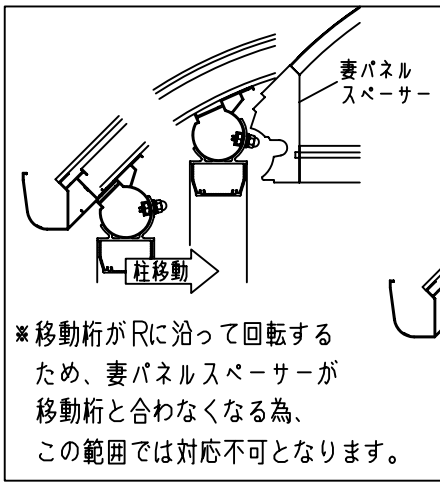


◆ RG 型 柱移動説明図 ◆

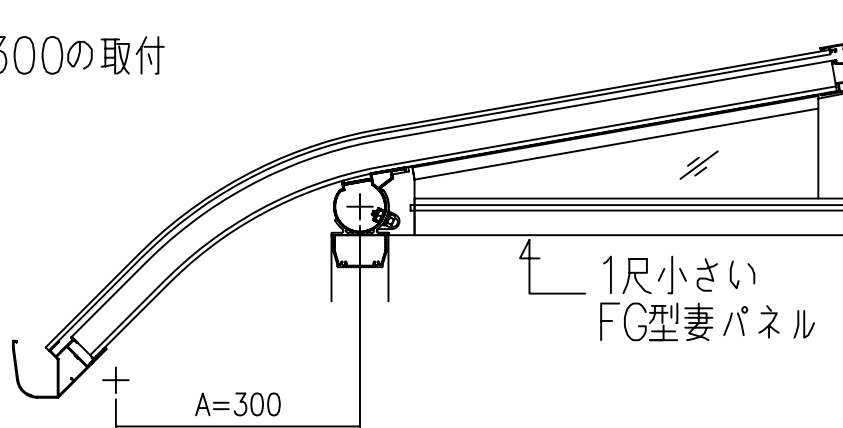
・ 柱移動なしの取付 ($A=0$)



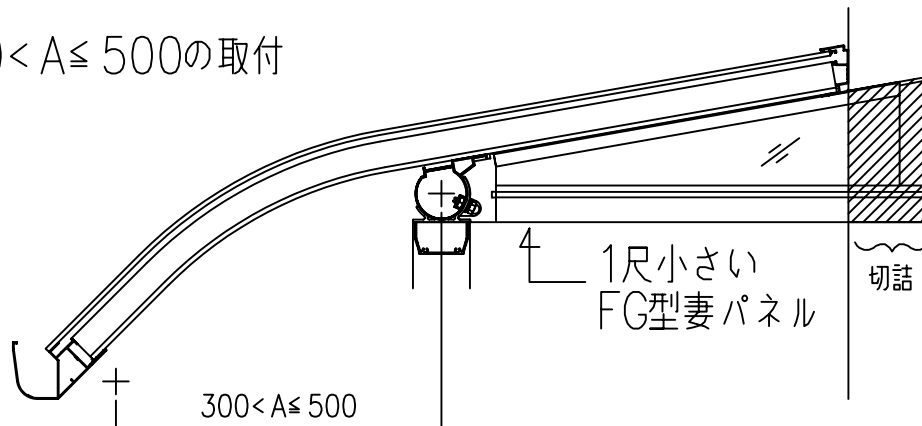
・ 柱移動 $0 < A < 300$ の取付



・ 柱移動 $A=300$ の取付



・ 柱移動 $300 < A \leq 500$ の取付

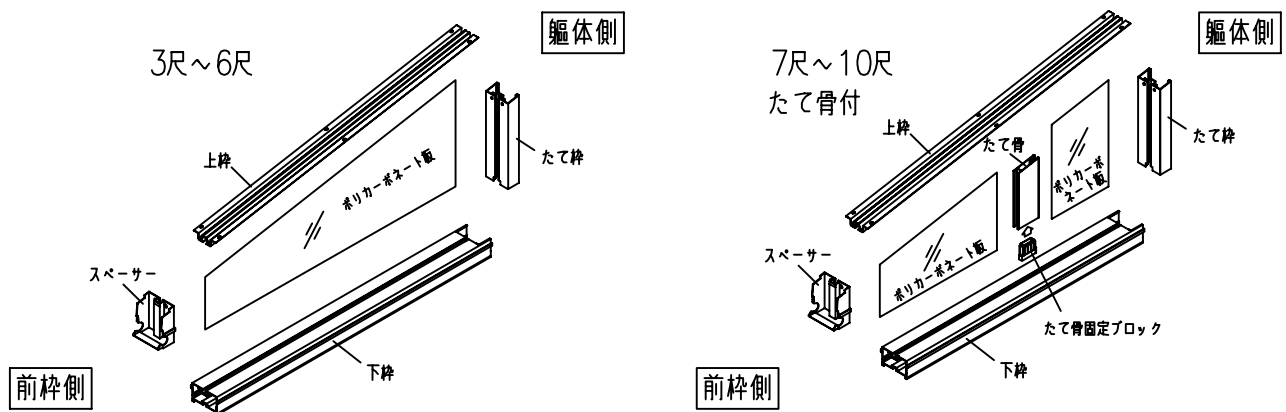


切詰を行なうときの加工

● 妻パネルをの解体

※表1よりRG型の切詰めは無いものとし、以下FG型で表します。

・妻パネルをばらし部材を分けてください。



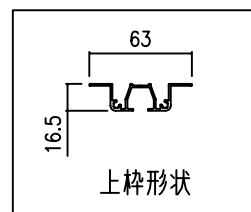
● 上桢の加工

・上桢を切詰めてください。

切詰：Xの算出方法

柱移動距離：Dとします。

$$X = D / \cos 10^\circ = D / 0.985$$



例1) FG型で柱移動が200mmのとき

$$D = 200$$

$$X = 200 / \cos 10^\circ$$

$$= 200 / 0.985 \approx 203$$

例2) FG型で柱移動が400mmのとき

妻パネルは1尺小さいものになるため

柱移動300mmしたものと同等効果になります。

よって残り100mmをD=100で計算します。

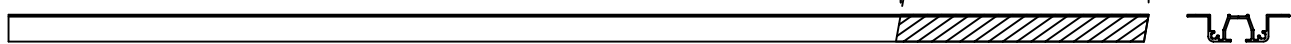
$$X = 100 / \cos 10^\circ$$

$$= 100 / 0.985 \approx 101.5$$

前桢側

切詰寸法：X

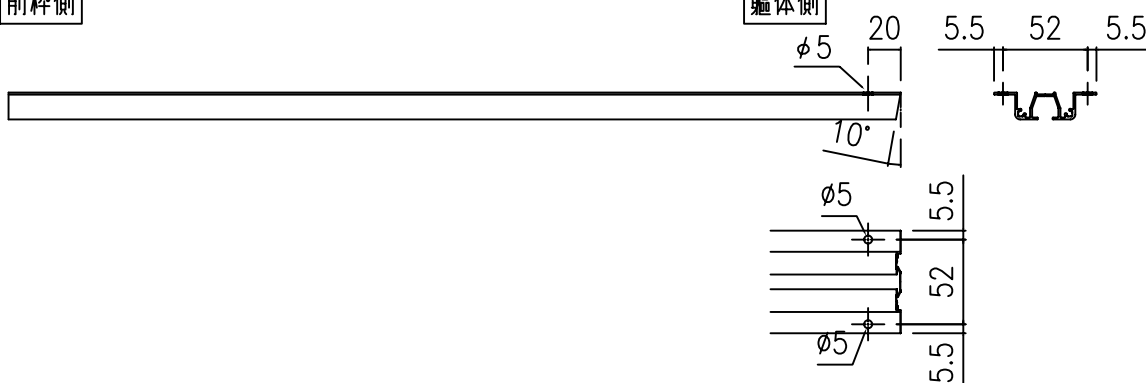
躯体側



・切詰後φ5孔を追加してください。

前桢側

躯体側



切詰を行なうときの加工

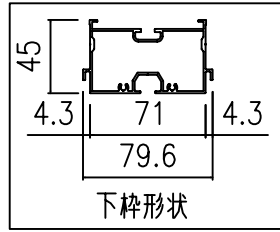
● 下枠の加工

・下枠を切詰めてください。

切詰：Xの算出方法

柱移動距離：Dとします。

$$X = D$$



例1) FG型で柱移動が200mmのとき

$$D=200$$

$$X=200$$

例2) FG型で柱移動が400mmのとき

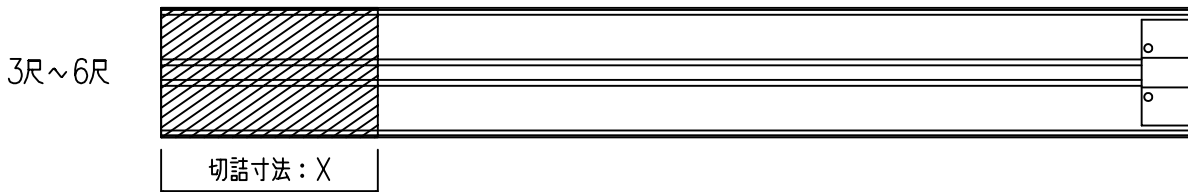
妻パネルは1尺小さいものになるため

柱移動300mmしたものと同じ効果になります。
よって残り100mmをD=100で計算します。

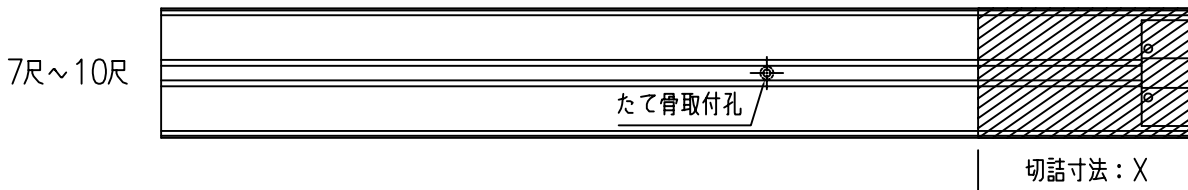
$$X=100$$

前枠側

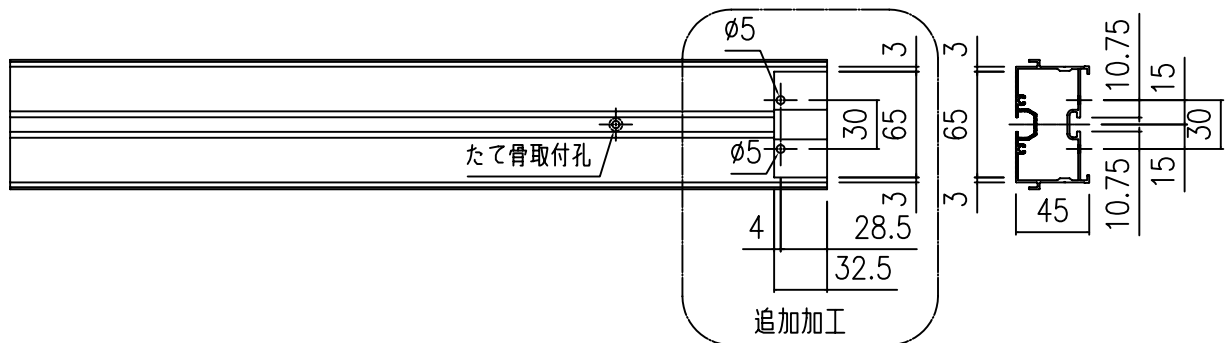
躯体側



※ 3尺～6尺は前枠側から切詰めると追加加工がありません。



※ 7尺～10尺は前枠側から切詰めると、たて骨取付孔の追加加工が必要となり
又、初めから開いていた孔が残ってしまいますので、躯体側から切詰めてください。



切詰を行なうときの加工

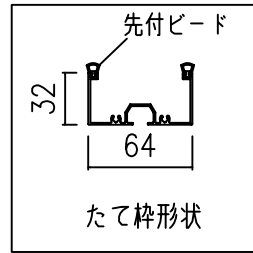
● たて枠の加工

・たて枠を切詰めてください。

切詰：Xの算出方法

柱移動距離：Dとします。

$$X = D \times \tan 10^\circ = D \times 0.176$$



例1) FG型で柱移動が200mmのとき

$$D=200$$

$$X=200 \times \tan 10^\circ$$

$$=200 \times 0.176 = \underline{\underline{35.2}}$$

例2) FG型で柱移動が400mmのとき

妻パネルは1尺小さいものになるため

柱移動300mmしたものと同じ効果になります。

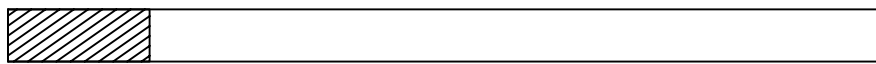
よって残り100mmをD=100で計算します。

$$X=100 \times \tan 10^\circ$$

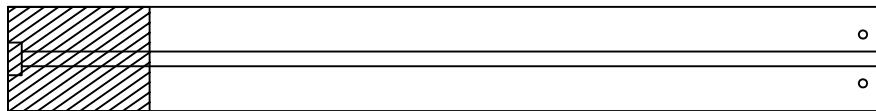
$$=100 \times 0.176 = \underline{\underline{17.6}}$$

下枠側

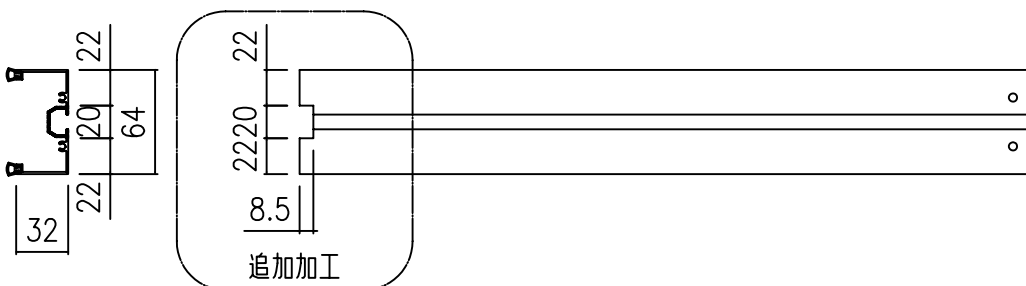
上枠側



切詰寸法：X

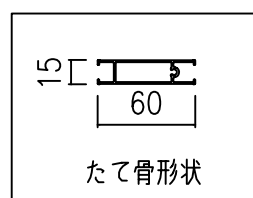


切詰寸法：X



● たて骨の加工（7尺～10尺）

・たて骨の切詰めは有りません。



切詰を行なうときの加工

● ポリカーボネート板の加工

- ・ポリカーボネート板を切詰めてください。

切詰：Xの算出方法

柱移動距離：Dとします。

$$X = D$$

例1) FG型で柱移動が200mmのとき

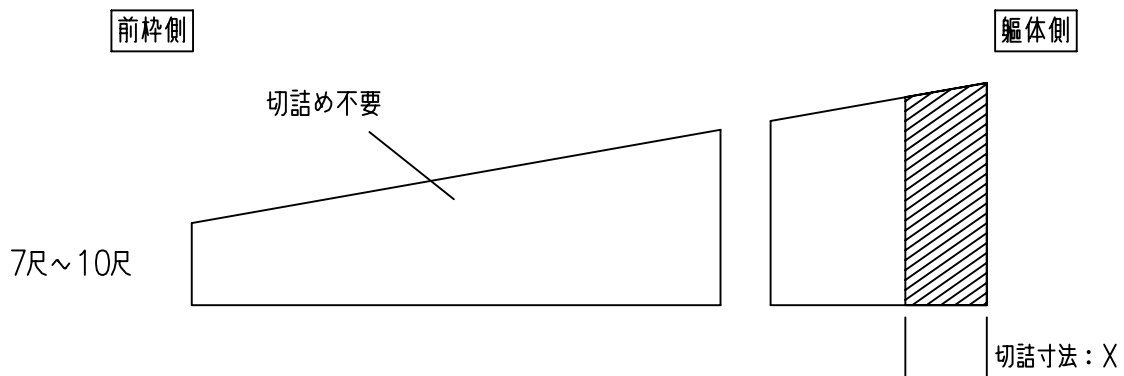
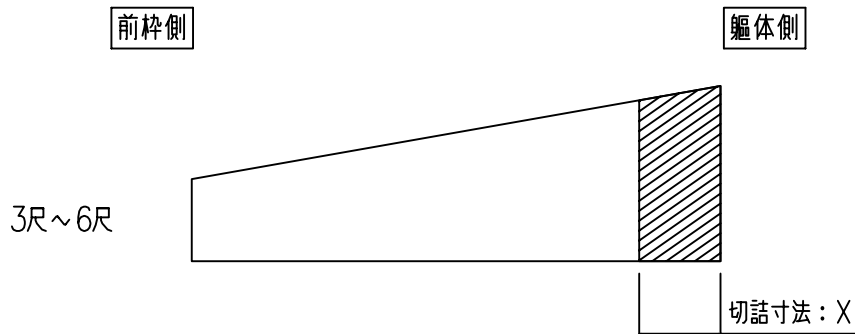
$$D=200$$

$$X=200$$

例2) FG型で柱移動が400mmのとき

妻パネルは1尺小さいものになるため
柱移動300mmしたものと同一効果になります。
よって残り100mmをD=100で計算します。

$$X=100$$



※ 7尺～10尺は躯体側のポリカーボネート板を切詰めてください。
前枠側のポリカーボネート板は切詰めません。